

国立大学法人島根大学役員会（第431回）〈議事要録〉

日 時 令和8年2月17日（火） 14:00 ～ 15:08
場 所 本部棟5階 大会議室（TEAMS 利用）
出席者 大谷学長、増永理事、松崎理事、金山理事、椎名理事、大川理事、上野理事
オブザーバー 吉田監事、栗原監事
欠席者 宮脇理事
〔陪席：齋藤副学長（報告事項1のみ）、企画部長、研究・地方創生部長、
教育・学生支援部長、総務部長、財務部長、松江地区学部等事務部長、
医学部事務部長、監査室長事務取扱〕

報告事項1 安全保障技術研究に係る競争的研究費制度への参加について

- 齋藤副学長から資料に基づき、安全保障技術研究に係る競争的研究費制度への参加について報告があった。

議決事項1 日印グローバル教育・研究推進会議の設置に伴う学長室規則の一部改正及び同会議要項の制定について

- 学長から資料に基づき、日印グローバル教育・研究推進会議の設置に伴う学長室規則の一部改正及び同会議要項の制定について説明があり、審議の結果、原案どおり議決された。

議決事項2 令和7年度人事院勧告・報告への対応方針及び規則改正について

- 増永理事から資料に基づき、令和7年度人事院勧告・報告への対応方針及び規則改正について説明があり、審議の結果、原案どおり議決された。

議決事項3 令和8年度予算編成方針（案）について

- 大川理事から資料に基づき、令和8年度予算編成方針（案）について説明があり、審議の結果、原案どおり議決された。

議決事項4 令和8年度国立大学法人総合損害保険等の加入内容について

- 金山理事から資料に基づき、令和8年度国立大学法人総合損害保険等の加入内容について説明があり、審議の結果、原案どおり議決された。

協議事項1 定期モニタリングの実施について（学生のメンタルヘルスサポート体制）

- 松崎理事から資料に基づき、定期モニタリングの実施について（学生のメンタルヘルスサポート体制）説明があった。
- 増永理事から、本学の障がい学生修学支援制度の利用学生と全国の大学における要配慮学生の定義が同一であるのか、同一である場合に本学の割合が高い理由について質問があった。松崎理事から、あくまでも支援制度の利用学生割合の比較になるが、本学の割合が高いのは、相談しやすい環境と手厚い支援が認識され、進学先として選ばれやすいことが考えられるとの回答があった。
- 大川理事から、現在のカウンセリング体制を強化するだけでなく、学生の行動様式の変化に応じて外部機関を活用するなど別の支援方法を検討してはどうかとの意見があった。
- 栗原監事から、メンタルヘルス不調の原因分析と対応について質問があり、松崎理事から、休学・退学理由の調査において、全国的にメンタルヘルスの問題で休退学する学生が増えてお

り、本学も同様の傾向が見られることから、背景をさらに詳しく調査したうえで対応する必要があるとの回答があった。

- 吉田監事から、保健管理センターと学部との連携について、学部ごとの相談状況等を分析し、必要に応じて学部への支援強化を検討してはどうかとの意見があった。
- 椎名理事から、障がいに関する定義が曖昧な場合、人数の増減に係る評価が困難となることから、質的な分析を進める必要があること、及び学生の状況を適切に把握するためには丁寧な支援が不可欠であり、その実施に向けた人員の確保が重要であるとの意見があった。

報告事項2 附属病院運営状況について

- 椎名理事から資料に基づき、附属病院運営状況について報告があった。

報告事項3 公的研究費等の不正使用の防止に向けた啓発活動（令和7年度第4四半期）について

- 大川理事から資料に基づき、公的研究費等の不正使用の防止に向けた啓発活動（令和7年度第4四半期）について報告があった。

報告事項4 会計検査院「令和6年度決算検査報告」について

- 大川理事から資料に基づき、会計検査院「令和6年度決算検査報告」について報告があった。

報告事項5 全学委員会の議事報告について

- 資料に基づき、書面による報告があった。